

14) 教科書に見る 1800 年代の咬合器

Articulators in the textbook of 1800's

東北大学 永田和弘

Nagata Kazuhiro, Tohoku University

1805 年にフランス人の Gariot が最初の金属性咬合器を創始したと紹介されている。例えば、Hall は図入りで「例として」と断りを入れながらであるが、平線咬合器を紹介している。1933 年に Denton, G. B. は Dental Cosmos 誌で「The Gariot articulator myth.」と題して、「Gariot の著作には、石膏咬合器の製作法について述べられているだけで、金属製咬合器については述べていない」と金属製咬合器創始の通説に批判を加えている。

この Denton の指摘に興味を引かれたが、肝心の Gariot の著作に目を通すことはできないでいた。原著はいまだに見ていないが、英語訳されたものを手に入れることができ、早速確認を試みた (Gariot の肩書きは「スペイン王の歯科医師」となっており、フランス人ではないかもしれない)。Denton の言うように Gariot は金属性咬合器については一言も述べておらず、石膏咬合器の製作法を記述しているだけである。Denton によれば、Gariot が咬合器を創始したと述べたのはイタリアの Guerini だという。ところが、Guerini は「金属製」とは言っておらず、単に「1805 年頃、咬合器を発明した」と述べているだけである。

では、実際には 1800 年代初頭の咬合器事情はいかなるものであったかを、当時の教科書で見ることにした。1840 年にアメリカのバルチモアに世界で最初の歯科学学校 (BOLTIMORE COLLEGE OF DENTAL SURGERY) が設立されるが、その前年に創設者の一人である Harris が Dental Surgery (1839) を出版する。この本は改版を重ねて 1902 年の 13 版に至るまで、アメリカの歯科学の教科書としてのスタンダードの役割を果たした。この中で、咬合器がどのような記載の歴史を経たかについて調べてみた。参照できたのは初版 (1839), 4th Ed. 1850, 8th Ed. 1863, 10th Ed. 1879, 12th Ed. 1889, 13th Ed. 1902 である。その他、補綴学専門の最初の成書である

「Mechanical Dentistry (1864)」を参考とした。

Articulator という名称は Cameron や Evens の特許 (1840) に見られるが、実際には種々の呼び方があったようだ (antagonizing Frame 等)。Articulator の呼称で定着するのは 1863 年の Harris に名称の定義が現れた頃からであろう。

さて、Harris の初版には「The Manner of Obtaining a Model: 模型製作法」(P348) として石膏咬合器の製作法が記述されるが、Articulator の文字は無い。1850 年の Harris 第 4 版には石膏咬合器に加えて Evans 咬合器が紹介されるが、名称は Instrument である。1863 年の Harris 第 8 版には S. S. White の単顆頭咬合器である #1 型咬合器が紹介され、Articulator の名称が使われる。1879 年の第 10 版では Evans #1 型は姿を消し、石膏咬合器は依然と大きなスペースを占めながら、我々の良く知る平線咬合器 #2 型と Smith 咬合器が紹介される。1889 年の第 12 版では石膏咬合器、#2 型と共に Bonwill 咬合器が登場してくる。ここでは、Bonwill の咬合論すなわち咬合の動的調和が大きくスペースを割いて説明されている。1902 年の第 13 版は 12 版を踏襲しているが依然として、石膏咬合器は掲載されている。

紹介した教科書の流れから見ると、1800 年代の咬合器は石膏咬合器が最もポピュラーなものであったようだ。金属性咬合器の創始論議もその背景には「石膏咬合器を超えて金属性咬合器に進歩した」という進歩史観が垣間見える。「石膏が豊富であるならば、石膏咬合器に勝る咬合器はない」の記述が 1863 年の Harris に見える。如何に咬合器が発展しようとも、中心咬合位の確立が何にもまして重要であるという当時の見識、更には側方運動時の咬合の調和が重要であるという認識は 100 年を隔てて今日への警鐘のように響く。当日は文字だけでは伝え難い 1800 年代の咬合器の変遷を画像で紹介したい。